

いっぴん、ベツピン、絶品！ ～歌麿、北斎、浮世絵師たちの絵画

Paintings of Beautiful Women by Utamaro, Hokusai, and Other Ukiyo-e Artists



①葛飾北斎《二美人図》19世紀 重要文化財
MOA美術館蔵【4/28-5/17展示】

2020年

開幕日延期

4月4日(土)～5月17日(日)

*** 当面の間、臨時休館**

* 会期中、展示替えがあります

前期:4月 4日(土)～4月26日(日)

後期:4月28日(火)～5月17日(日)

◆ 展覧会概要

日本美術の粋の一つ、江戸時代に花開いた浮世絵は、代表的な江戸美術でもあり、庶民文化が育んだ「サブカルチャー」でもあります。本展は、そうした浮世絵の中でも、いわゆる版画ではなく、浮世絵師たちの運筆の息吹が伝わる一点ものの絵画である肉筆浮世絵に焦点をあてます。肉筆浮世絵、特に美人画は、流派によって面貌や^{めんぼう}姿態の表現に個性が表れ、注文主の好み^{しだい}を直に^{じか}反映するため、当時の人々が求めた美意識を如実に感じることができるでしょう。

今回の展覧会では、喜多川歌麿や葛飾北斎などの新発見・再発見作品のほか、重要文化財・重要美術品を含む約80件をご紹介します。数々の著名浮世絵師たちの筆の冴えと、「別嬪」を描いた「一品」だけの「逸品」をご堪能ください。

*** 本展覧会の出陳作品には、18歳未満の方(高校生を含む)がご覧になれない作品が一部含まれます。**

◇ 展覧会構成

第1章 初期風俗画と岩佐又兵衛
～17世紀、浮世絵の幕開け



日本で風俗画が描かれるようになったのは室町時代後期。やがて江戸時代初期には単独像の美人画が現れます。ここでは寛文美人図などの初期風俗画とともに、特にその時代を代表する岩佐又兵衛の名品を紹介します。

②岩佐又兵衛
《弄玉仙図／ろうぎょくせんず》
17世紀 重要文化財
公益財団法人摘水軒記念文化振興財団蔵 【4/4-26展示】

第2章 菱川師宣の登場
～18世紀前期までの絵画



17世紀後半の新興都市江戸で、浮世絵の祖といわれる菱川師宣が登場し、一派を確立。その後、大柄な体躯の美人画で人気を博した懐月堂一派、たおやかで上品な美人画の宮川派が、18世紀前期までの美人画の画壇を席卷しました。この三派に鳥居派の初期作品を加えた作品を紹介します。

③懐月堂安度
《やじろべえをもつ立美人図》
18世紀 個人蔵 【通期展示】

第3章 爛熟する浮世絵
～18世紀中期の美人画

18世紀中期は多色摺版画によって浮世絵が発展しました。版画だけでなく、肉筆画でも多くの名人が誕生、美人画や役者絵で浮世絵界が活性化し、勝川派、北尾派、鳥居派などが活躍した百家争鳴の時代。優れた絵師たちの競演をご覧ください。

④勝川春章《雪月花図》18世紀 重要文化財
MOA美術館蔵 【4/4-26展示】



第4章 西川祐信と京・上方の美人画



浮世絵版画が京・大坂の上方で展開するのは19世紀。しかし、それ以前に肉筆画を中心に描く絵師が現れました。上方を代表する西川祐信、月岡雪鼎、そして異色の絵師である祇園井特の作品を紹介します。

ぎおんせいとく
⑤祇園井特
《团扇持つ美人図／うちわもつびじんず》
18～19世紀 個人蔵 【通期展示】

第6章 葛飾北斎とその周辺
～19世紀前半の美人画

歌麿亡き後、19世紀前半の浮世絵画壇を牽引した一人が葛飾北斎。長寿で多作の北斎は40代の頃、特に美人画の肉筆画に熱心に励んでいました。筆力・構図ともに優れた北斎と、その弟子たちの作品、そして幕末まで活躍した菊川英山や溪斎英泉の美人画、多彩な作品を紹介します。

第5章 喜多川歌麿と鳥文斎栄之
～18世紀後半の好敵手

18世紀後半、寛政の改革で美人画にも規制がかかります。この時期に頭角をあらわしたのが美人画の名手、喜多川歌麿です。版画に比べ、肉筆画作品が少ない歌麿の、半世紀ぶりの出品となる貴重な作品（右図）をはじめ、ライバルである鳥文斎栄之の作品から、両者の美人画の真髓を味わっていただきます。

⑥喜多川歌麿
《限取する童子と美人図／くまどりするどうじとびじんず》
19世紀 個人蔵
【4/28-5/17展示】



第7章 歌川派王国の浮世絵師 ～豊春から芳年まで

19世紀以降の幕末期に浮世絵画壇で最大勢力を誇った歌川派。開祖豊春をはじめ、多くの美人画を遺しています。豊国、豊広、国貞ら、その一門の弟子には、幕末の歌川広重、月岡芳年もあり、やがて近代につながる歌川派の美人画の系譜をたどりま



⑦歌川豊春
《花魁図／おいらんず》
18～19世紀
公益財団法人摘水軒記念文化
振興財団蔵 【4/4-26展示】

第8章 めくるめく春画の名品 ～浮世絵なるものの本質、そして極み

春画は、特に浮世絵誕生以降、浮世絵師が得意とする分野になり、多くの浮世絵師たちが例外なく健筆をふるいました。特に肉筆画作品は、版画と異なり、身分の高い人からの注文制作であることがうかがえ、春画の精髓は肉筆画でこそご覧いただけるといえます。



⑧葛飾北斎
《閨中交歓図／けいちゅうこうかんず》
(部分) 19世紀 個人蔵 【通期展示】

*** 18歳未満の方(高校生を含む)は
本章の出品作品をご覧になれません。**

◇会期中イベント

◎記念講演会

「浮世絵概観—絵画史としての江戸風俗画」

講師：内藤正人 氏 (本展監修者、慶應義塾大学文学部教授、同アート・センター所長)

5月16日(土) 午後2時～ 地下2階ホール

*無料(要入館料) *定員40名

*事前申込(先着順) 【往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)にて、

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入のうえ

「いっぴん講演会」係まで。1通につき1名まで。定員になり次第締切。】

◎落語と太神楽で江戸を体感!

出演：春風亭柳若 [落語]、鏡味よし乃 [太神楽]

5月6日(水・休) 午後2時～

*無料(要入館料)

*各回定員40名(応募者多数の場合は抽選)

*事前申込【往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)にて、

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入のうえ

「落語」係まで。4月22日(水) 必着締切。1通につき1名まで。】



春風亭柳若



鏡味よし乃

**※①「講演会」の日程・
定員・申込方法、②「落
語と太神楽」の定員、③
ワークショップの日程が
4月1日付で変更となりま
した。**

**また、4月中のギャラ
リートークと建築ツアー
は中止となりました。**

◎ワークショップ

「はぎれでボタンづくり」

着物などの端切れをつかって、くるみボタンを作ります。

5月17日(日) 午前11時～午後3時 地下2階ホール

*無料(要入館料) *自由参加 *材料がなくなり次第終了

*作業時間15分程度

◎学芸員によるギャラリートーク

4月17日(金)、5月2日(土)、10日(日)

各日午後2時～ 約40分

*無料(要入館料)

*事前予約の必要はありません

◎館内建築ツアー

白井晟一設計の美術館建築を館員がご案内します

~~4月10日(金)、17日(金)、24日(金)~~

5月1日(金)、8日(金)、15日(金)

各日午後6時～ 約30分

*無料(要入館料) *各回定員20名

*事前予約の必要はありません

今後も変更の可能性がありますので、最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください。

